

## □ 本部の動き

## 1. 常任理事会の開催

正副会長と常任理事で構成（8名）する常任理事会を次のとおり開催しました。

## (1) 第4回(10月9日)

- ① 第2四半期以降の主要会議等スケジュール
- ② 平成25年度ブロック会議への対応について
- ③ その他・懸案事項について協議

## (2) 第5回(10月24日)

- (1) 第2回理事会提出議案について
  - ① 平成25年度前期事業報告並びに決算報告
  - ② 理事の一部辞任について
- (2) 協議事項
  - ① 校友会比例代議員数の見直しについて
  - ② スポーツ振興基金助成の見直しについて
  - ③ 校友会館の消防署立入査察結果への対応 等

## (3) 第6回(11月28日)

- ① 農大常磐松の校友会館管理方針案について
- ② スポーツ基金からの強化指定部への奨励金について
- ③ 東京農業大学校友会準会員への褒賞について
- ④ 都道府県議会校友アカデミー総会の開催 等

## 2. 第2回監事会の開催(11月1日)

11月1日、平成25年度前期事業報告並びに前期決算報告などについて、監事3名による監査を実施しました。

## 3. 第3回理事会の開催(11月14日)

11月14日、理事21名（本人19名、委任状2名）が出席、次の議案等が審議され原案どおり承認されました。

- (1) 平成25年度前期事業報告並びに前期決算報告(監査結果報告)について
- (2) 理事の一部辞任について  
高野克己理事からの辞任届けを受理
- (3) 協議事項
  - ① 東京農業大学校友会比例代議員定数の見直しについて
  - ② 報告事項 主要行事日程について

## 4. スポーツ振興基金の募金経過報告

平成7年10月より開始したスポーツ振興基金の募金状況は、平成25年11月末現在の累計6,720件、金額で105,817,917円となっております。

なお、25年度は11月末までに216件、176万円(目標額300万円)の募金を頂きました。お寄せ頂いた校友のご厚情とご協力に感謝致します。

なお、募金窓口を引き続き開設しておりますので、よろしくお願ひ致します。

## 5. スポーツ振興基金の助成

大学、教育後援会、校友会の三者が拠出造成しているスポーツ振興基金からの運動部に対する助成については、当初から継続して強化指定4部に助成（大学奨励金委員会）されております。

平成25年度の強化指定部と助成額は、陸上競技部（長距離男・女2,500万円）、硬式野球部（世田谷1,000万円、オホーツク500万円）、相撲部（500万円）です。25年度までに上記4部に対し、トータル合計5億1,300万円が助成されました。

## 6. 平成25年度支部ブロック会議開催

校友会支部ブロック会議が5ブロックで開催され、大学・校友会の近況報告、各支部の活動報告、情報交換並びに学校法人、校友会に対する提案・要望事項などが審議されました。

特に、125周年記念事業資金募金への取り組みの現状と今後の対応等について活発な意見交換が行われました。

開催当番支部と日程・場所は次のとおりです。当番支部には開催準備など大変お世話になりました。

北海道・東北	山形県支部	10/26	天童市
関東・甲信越	東京都支部	10/18	立川市
東海・近畿・北陸	福井県支部	11/16	あわら市
中国・四国	香川県支部	11/16	高松市
九州	福岡県支部	11/2	柳川市

## ○ (株)農大常磐松取締役会の開催

12月11日に株式会社農大常磐松の取締役会が開催されました。取締役10名及び監査役2名が出席、平成25年度前期営業報告などについて審議、異議なく承認されました。

## ○ 東京農大校友アカデミー総会を開催

12月20日(金)、校友の都道府県議会議員で構成する東京農大校友アカデミー(会長中澤丈一氏 群馬県)の総会が、大澤理事長、高野学長、校友会正副会長・常任理事を来賓に迎え、グリーンアカデミーホール3階大会議室で開催されました。

各地の政治・経済・農政等の課題について、活発な意見交換が行われると共に、研修会では、国際食料情報学部の堀田和彦教授が「TPPなど我が国の農政問題について」講演しました。

総会終了後は、参議院の高野光二郎議員、儀間光男議員を交え、会員等の懇親を兼ねた情報交換会が行われました。

## □ 今後の主な行事等

### 1. 平成25年度農友会激励懇親会 [1/16]

校友会主催の農友会激励懇親会が、平成26年1月16日(木)午後6時から、グリーンアカデミーホール3階で開催されます。

平成25年度中における農友会の活躍を讃え、更に、更なる健闘を期待して、農友会各部の部長、監督、主将、幹事などを招待。伝統ある大会への出場や優秀な成績を収めた団体又は個人に対し、校友会褒賞基準に基づき、褒賞(表彰状並びに褒賞金一封)が授与されます。

### 2. 平成25年度第7回常任理事会の開催 [2/5]

第7回常任理事会が平成26年2月5日(水)に開催されます。全国支部長会議への提案事項等が審議されます。

### 3. 全国支部長会議の開催 [2/14]

平成25年度の全国支部長会議が、平成26年2月14日(金)午後1時から落成した大学アカデミアセンター講堂(予定)で開催されます。

支部ブロック会議で集約した課題や要望事項、校友会比例代議員定数の見直しなどについて討議・検討、今後の校友会活動等に役立てることとしています。

### 4. 第4回理事会の開催 [2/14]

平成25年度第4回理事会が平成26年2月14日午前11時から校友会会議室で開催されます。

全国支部長会議に諮る議題等について審議します。

### 5. 平成26年度前期・校友会会議日程

- ・4月14日(月) 常任理事会 14時～
- ・4月16日(水) 監事会 15時～
- ・4月22日(火) 常任理事会 11時～
- ・ 理事会 14時～
- ・5月13日(火) 農大常磐松監査会 13時～
- ・ 農大桜丘監査会 14時～
- ・ 農大常磐松取締役会 15時～
- ・5月23日(金) 理事会 11時～
- ・ 通常総会 13時～

## 6. 支部交付金の交付

支部交付金の後期分(支部総会開催、教職員部会開催、女性部会開催、125周年記念募金活動実績割)は、各支部からの実績報告に基づき平成26年3月末までに各支部に交付(送金)する予定です。

## □ 会員の動静(9月～12月20日)

### ◎ 慶

\*平成25年春の叙勲を次の方が受章されました。

細野 文哉氏(昭33短醸) 瑞宝単光章 茨城県支部

\*平成25年秋の叙勲を次の方が受章されました。

芦田 富男氏(昭37化) 瑞宝双光章 京都府支部

### ◎ 当 選

#### ○市町村長

吉田 和夫氏(昭43経) 9月22日 新潟県支部

[胎内市 3期目]

七条 明氏(昭50醸) 10月21日 徳島県支部

[上板町 1期目]

福島 やすお氏(昭49拓) 10月28日 栃木県支部

[那珂川町 1期目]

### ◎新支部長紹介

千田 武宏氏(昭43拓) 10月20日 岩手県支部

### ◎弔

次の校友がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(支部等からの報告者のみ掲載)

- ・谷口 正春氏(昭17専拓) 24.3.18 大阪府支部
- ・岡田 和子氏(昭34短栄) 24.1.13 大阪府支部
- ・梶山 健一郎氏(昭19専化) 1月29日 大阪府支部
- ・坂田 敏郎氏(昭45農) 2月13日 大阪府支部
- ・廣貴 平八郎氏(昭20専拓) 2月23日 大阪府支部
- ・西原 景哲氏(昭47農化) 6月19日 大阪府支部
- ・富高 弥一平氏(昭31農) 6月20日 愛知県支部
- ・黒松 喜英氏(昭24専化) 7月26日 大阪府支部
- ・柳田 藤治氏(昭33醸) 8月5日 東京都支部
- ・小野澤 宏氏(昭25専農) 8月31日 新潟県支部
- ・端山 重男氏(昭21学農) 9月2日 神奈川県支部
- ・長沼 毅氏(昭52醸) 9月27日 新潟県支部
- ・角田 忠氏(昭31農) 9月29日 神奈川県支部
- ・荒井 康雄氏(昭28学農) 10月16日 東京都支部
- ・佐藤 哲廉氏(昭44化) 11月1日 新潟県支部
- ・今西 隼夫氏(昭41化) 11月2日 三重県支部
- ・吉岡 孝氏(昭28農) 11月3日 千葉県支部
- ・杉山 利栄氏(昭41化) 11月3日 広島県支部

## □ 連絡・報告事項

### 1. 平成26年度地域後継者推薦入試合格者

校友会40支部から推薦された96名全員の合格が認められました。各キャンパスの志願者内訳は世田谷45名、厚木33名、オホーツク11名、短大7名でした。今後とも優秀な学生を推薦願います。

### 2. 地域後継者推薦合格者の学生総合保険加入促進

(有)農大桜丘では、大学、校友等のサービス向上に努めるため、保険業務を行っております。この中で、地域後継者推薦の合格者等を対象に毎年「学生総合プラン」を紹介し、安心して学生生活がおくられる事を願いながら、加入促進に努めています。25年11月末に、地域後継者推薦合格者の保護者宛「学生総合プラン」を紹介し、加入案内パンフレットを送付いたしました。地域後継者推薦で合格した学生について、まだ未加入の方は加入して頂くようご連絡方お願い致します。

### 3. 地域後継者推薦手順等の確認調査

大学からの要請により、支部における推薦手順、卒業後の進路などについて「地域後継者推薦入試による推薦手順等の確認調査(アンケート方式)」を実施いたしました。調査結果については、全国支部長会議に報告を予定しています。

### 4. 東京農業大学ブランドの確立に関する調査

校友の活躍を広く一般に紹介すると共に、農大ブランド品としてPRしつつOB経営を支援する目的で「東京農業大学ブランドの確立に関する調査＝農業の6次産業化に取り組むOB経営の販売品調査＝」を実施中です。未報告支部は、未だ間に合いますので管内のOB経営をご紹介下さい。

### 5. 25年度支部総会開催状況について

平成25年11月末日まで、37支部において支部総会が開催されました。本部役職員が出席し、校友会活動への協力要請、校友会活動報告並びに情報交換を行いました。(別紙1参照)

### 6. 年末年始の執務

校友会本部及び校友会館(グリーンアカデミーホール・レストラン)の年末・年始は、12月25日(水)～1月5日(日)の間休業、6日(月)から平常業務開始します。

新年も変わらぬご支援、ご愛顧のほどお願い致します。

## □ 学校法人並びに大学の動き

### 1. 学校法人(大学)の冬季休業

平成25年12月25日(水)～平成26年1月5日(日)ま

で冬季休業。大学も同じ。

### 2. 東京農業大学アカデミアセンターが落成

東京農業大学アカデミアセンターが落成し、学校法人役職員、建設工事関係者などによる落成式が12月18日(水)挙行されました。新年1月6日(月)から法人本部の業務が開始されます。

### 3. 大学職員人事(順不同)

【発令日：平成25年11月1日】

東京農業大学学長室付け 事務職員 袖山松夫  
(東京農業大学教育後援会事務局長)

法人本部長 事務職員 古谷勇治  
東京農業大学事務局長

東京農業大学事務局世田谷学生サービスセンター事務局長

事務職員 舟山 亮

### 4. 学会賞の受賞等について

平成25年9月18日以降、別紙2記載のとおり学会賞等を受賞しました。

### 5. シンポジウム・研究会等の開催

平成25年5月16日以降、別紙3記載のとおりシンポジウム・研究会等が開催されました。

### 6. 推薦入試I期入試結果について

平成26年度一般推薦入試の志願者は、大学908名、短期大学部108名、合計1,016名でした。志願者全員が受験し、合格者は大学568名、短期大学部84名、合計652名(合格率64.2%)となりました。

少子化現象が進み、全入学の状況の最中であって多くの大学が個性化に努めており、農大においても、各学部、学科も多様な取組みがなされてきました。引き続き、農大ならではの特色ある取組みが期待されています。

### 7. 収穫祭

#### ○ 世田谷キャンパス

第122回収穫祭は『今こそ魅せろ、農のちから』をテーマに、11/1～3日(11/4は体育祭)の3日間にわたって開催された。テーマの主旨は『TPP交渉への参加が決定し、これから日本農業にとって厳しい時代が来ると考えられます。農業の高齢化・就農人口の減少が進む現状では多くの農家が苦しむことになると思います。そこで“収穫祭”で何ができるかを考えた時に“農の地から”また“農の智から”「農の力」を発信し、そのすばらしさを知ってもらうことだと思いました。そしてそれが日本の農産物を買ってもらうことにつながり、ゆくゆくは日本農業再建の手伝いになって欲しいという思いを込めてこのタイトルをつけました。そしてこれから農大を背負う学

生に、農大の力を魅せつけてやろうぜ!!!という気合いを混ぜ込みました。』(原文)との思いから命名された。

新講義棟(新1号館)が文化学術展等のメイン会場になり、関心を集めていた。好天にも恵まれ、入場者数は昨年より約8,900名増の95,535名でした。

#### ○ 厚木キャンパス

第14回厚木キャンパス収穫祭は、『ハジける農業』をテーマに、11/2~3の2日間開催されました。テーマの主旨は『私達が日々学びの対象としている農学、しかし世の農学へのイメージは思いのほか地味とされてしまっています。そこで我々の学びの結晶、収穫祭において農学に対して明るく親しみやすいイメージを一人でも多くの人に持って欲しい、より多くの人に農学の良さを知って欲しい。そう願っています。』(原文)との思いから命名された。

来場者は、例年より少ない32,274名でした。地域のイベントとして定着し、特に野菜の無料配布に人気を集めたようです。

#### ○ オホーツクキャンパス

生物産業学部第25回収穫祭は、『縁一えにしー』をテーマに、10/13~14の2日間開催されました。テーマの主旨は、『始まりから四半世紀をむかえる今回の収穫祭、東京農業大学はいかなる団体よりも固い縁を重んじる。ここで一層結束をむすぶためと思い、この統一テーマを応募しました。』(原文)との思いから命名された。来場者数は、10,115名でした。

#### 8. 東京農大経営者フォーラム2013開催

「東京農大経営者フォーラム2013」が11月29日(金)、世田谷キャンパスの百周年記念講堂で開催された。このフォーラムは、校友の優れた経営者を表彰し、多様な業界と地域社会にアピールすることを目的に、毎年開催されている。多くの校友や学生が参加、本年度は3名が大賞を受賞、受賞者代表による記念講演等が行われました。

##### ☆東京農大経営者大賞

内田 多加夫氏 (昭45院化修) 山梨県

白百合醸造株式会社代表取締役社長

本 昌康氏 (昭50農) 石川県

株式会社ぶどうの木代表取締役

楊 世安氏 (平3醸) 台湾

味丹生物科技股份有限公司総経理

##### ☆東京農大経営者賞

本多 宗勝氏 (昭42農) 石川県

有限会社ほんだ代表取締役

宮川 将人氏 (平13農) 熊本県

有限会社宮川洋蘭専務取締役

##### ☆東京農大経営者特別賞

鈴木 日出夫氏 (昭32化) ブラジル

中南商事株式会社相談役会長

#### □ 学生の課外活動 (9月以降)

##### ○ 世田谷キャンパス

###### 1. 相撲部

\*第40回東日本学生相撲個人体重別選手権大会(8/31)

個人戦=【無差別級】正代直也(開発4)優勝、百瀬潤仁(森林2)準優勝

【135kg未満級】小永佑也(開発3)優勝、池田行宏(開発4)準優勝

【75kg未満級】中畑雄雅(森林1)準優勝

\*第38回全国学生相撲個人体重別選手権大会(9/22)

個人戦=【無差別級】正代直也(開発4)3位

【135kg未満級】小永佑也(開発3)3位

【75kg未満級】中畑雄雅(森林1)2位

\*第62回東日本学生相撲リーグ戦(10/6)

団体戦:3位

\*第91回全国学生相撲選手権大会(11/2)

団体戦:3位

個人戦:小柳亮太(森林2)準優勝

正代直也(開発4)3位

###### 2. ボクシング部

\*2013ボクシング世界選手権出場(8/29)

フライ級=青木貞頼(ヒジネ3)

Lウェルター級=齋藤一貴(ヒジネ3)

\*第68回国民体育大会ボクシング競技会(10/4~8)

準優勝 ウェルター級=吉野修一郎(ヒジネ3)

3位 ウェルター級=近藤広貴(経済3)

3位 ライト級=佐川遼(ヒジネ2)

5位 Lフライ級=華井玄樹(OB)

5位 ミドル級=助川康平(開発3)

\*第83回全日本ボクシング選手権大会(11/13~17)

優勝 フライ級=青木貞頼(ヒジネ3)

優勝 ライトウェルター級=齋藤一貴(ヒジネ3)

優勝 ライト級=成松大介(OB)

3位 フライ級=金澤宣明(ヒジネ2)

###### 3. 陸上競技部

\*第31回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(10/27)

社の都駅伝に3年ぶりの出場で総合11位と健闘。15

秒差で来年のシード権（8位以内）を逸した。

12月23日（月・祝）の2013全日本大学女子選抜駅伝競走（富士山女子駅伝＝静岡県富士市、富士宮市）の出場権（今回駅伝の12位まで）を獲得した。

#### 4. 硬式野球部

\*プロ野球ドラフト会議で校友2名が指名されました。

10月24日（木）のドラフト会議において、本学4年の陽川尚将君（内野手・バット・バレー・金光大阪高校出身）が、阪神タイガーズに3位で指名されました。また、OBの吉原正平さん（投手24歳：現日本生命・経済・筑紫学園出身）が千葉ロッテに4位で指名されました。

現・中日ドラゴンズ松井祐介さん（外野手26歳：バット・バレー・大阪商業大学堺高校出身）以来4年ぶり。ドラフト会議で校友と在学生在が同時に2名指名を受けたのは初めてのこと。

\*秋季東都大学野球リーグ2部残留

世田谷キャンパス硬式野球部は、秋季東都2部リーグでも3勝8敗の最下位に終わり3部との入替戦（大正大）の結果2部残留となりました。

#### 5. ラグビー部

\*関東大学リーグ戦(11/24)

関東大学リーグ3部リーグ最終戦の東京工業大学戦に勝利、6勝1敗で24年ぶりの3部優勝を果たした。

#### 6. レスリング部

\*全日本大学グレコローマン選手権大会(10/17~18)

平成25年度全日本大学レスリンググレコローマン選手権大会において団体で8位入賞しました。

3位 60kg級＝中村裕真（経済2）

3位 96kg級＝山田圭史（開発3）

5位 120kg級＝角田友紀（開発4）

今回の結果により、角田君、飯田将彦君、中村君、山田君が12月に行われる天皇杯平成25年度全日本レスリング選手権大会に出場する権利を得ました。

#### 7. 剣道部

\*全日本学生剣道優勝大会（11/4）

第61回全日本学生剣道優勝大会において、剣道部がベスト8に入賞し敢闘賞を受賞しました。準々決勝では早稲田大学に大将戦の末、1対2で敗れましたが、8年ぶりの敢闘賞受賞となりました。

#### 8. 競技スキー部（オホーツク）

\*第26回ユニバーシアード冬季大会出場決定

12月11日からイタリアのトレンティーノで開催される第26回ユニバーシアード冬季大会に、田中北人（産経

4）がバイアスロン日本代表に選ばれ出場します。

昨季ユニバーシアードの日本代表候補に選ばれていましたが、この秋にニュージーランドで行われた代表選考競技会で、すべてのレースに優勝し、その座を射止めました。オーストリアのインスブルック等での調整合宿を経て、競技は1月13日から20日まで行われます。

#### 9. 社交ダンス研究部

\*第107回東都大学学生競技ダンス選手権大会(10/13)

【デブ】 準優勝(参加28校)

中川卓也（経済4）・山田綾乃（開発4）組

【モダン】 3位

前田裕一郎（バット4）・阿部聖子（バット4）組

【タンゴ】 3位

柿寄伸亮（経済3）・新保七海（森林3）組

\*第93回東部日本学生競技ダンス選手権大会（11/17）

【I部戦】 3位 前田・阿部組

【フォーメーション】 3位

\*第58回全日本学生競技ダンス選手権大会（12/8）

【フォーメーション】 準優勝

#### ご挨拶

東京農業大学校友会活動につきましては、校友会役員、都道府県支部役員並びに多くの校友会員の皆様方には、本年中は大変お世話になりました。

校友会の発展を目指し来年も頑張りますので、引き続きご指導ご鞭撻賜りますよう、よろしく申し上げます。

皆様方にとって、明年が良い年でありますようご祈念申し上げます。

平成25年12月20日

東京農業大学校友会

事務局長 小野 甲二

岡本 素子

目 裕美子（旧姓・木内）

大澤 宥二

田中 祐子

(別紙1)

## 平成25年度校友会支部総会開催一覧表(平成25年度11月現在)

支部名	平成25年度		出席者		参加者数	場所	講演等
	開催日	曜日	校友会	大学			
青森	8月24日	土	小野甲二 事務局長	館博短大醸造学科教授	41	十和田市	—
岩手	10月20日	日	三好吉清 会長	高野克己東京農業大学・ 短期大学部学長	35	盛岡市	—
宮城	8月31日	土	福島哲男 常任理事	矢口行雄地域環境科学部 教授	55	仙台市	名取市市議会議長・山田龍太郎氏 (昭49拓)「ナトリ3.11災害と復興」
秋田	7月13日	土	外園( ) 副会長	黒瀧秀久地域産業経営学 科教授	50	秋田市	黒瀧秀久教授「地域力を引き出し、 地域を元気にするために～農業の6次産業化を中心に～」
茨城	9月8日	日	横澤馨 常任理事	高橋久光国際食料情報学 部学長	67	水戸市	茨城県酒造組合・廣瀬淳一会長 (昭40短醸)「茨城の酒と歴史」
埼玉	5月11日	土	福島哲男 常任理事	大澤貫寿前学長、宮林茂 幸地域環境科学部教授、 新井敏夫農大三校学長	56	秩父市	—
千葉	7月7日	日	福島哲男 常任理事	穂坂賢短大醸造学科教授	70	千葉市	—
東京	5月18日	土	三好吉清 会長	豊原秀和副学長	48	世田谷 キャンパス	豊原秀和教授「東京農業大学の近 況と将来展望」
神奈川	9月28日	土	佐藤勝彦 常任理事	鈴木敏郎農学部学長	73	厚木 キャンパス	宮林茂幸森林総合科学科教授「日 本の国土を守る源流大学構想」
山梨	11月22日	金	外園( ) 副会長	麻生恵造園科学科教授	64	甲府市	—
長野	9月8日	日	三好吉清 会長	—	35	松本市	JA長野中央会・浦野邦衛氏(昭56 農)「TPP等交渉の経緯と現状・ 課題について」
新潟	6月29日	土	外園( ) 副会長	藤本彰三国際食料情報学 部教授	86	新潟市	キムラファーム副代表・木村道雄 氏(平2畜)「農大で学んだこと を事業に活かす」
富山	8月23日	金	佐藤勝彦 常任理事	馬場正農学部教授	43	富山市	—
石川	11月9日	土	横澤馨 常任理事	渡邊文雄生産環境工学科 教授	62	金沢市	—
福井	11月30日	土	横澤馨 常任理事	—	29	敦賀市	—
岐阜	8月31日	土	小泉幸道 副会長	小泉幸道副学長	43	岐阜市	古川林業・古川昌樹氏(平20地 森)「木とともに遙かな道」
愛知	9月29日	日	小泉幸道 副会長	小泉幸道副学長	47	名古屋市	岡崎市ホタル学校名誉校長・古田忠 久氏(昭33農)「ホタル保護活動の あれこれ」
三重	10月27日	日	外園( ) 副会長	高橋久光国際農業開発学 科教授	36	津市	参議院議員・吉川有美氏(平9 開)「日本の農業」
京都	10月12日	土	横澤馨 常任理事	館博短大醸造学科教授	14	京都市	館博教授(講演あり)
大阪	11月9日	土	福島哲男 常任理事	夏秋啓子国際農業開発学 科教授	30	大阪市	—
兵庫	6月30日	日	小泉幸道 副会長	小泉幸道醸造科学科教授	42	神戸市	小田垣縁氏(平18短生)「八鹿豚 を日本一のブランドへ」
和歌山	7月13日	土	佐藤勝彦 常任理事	鈴木誠造園科学科教授、 大久保研治国際ハビタシ ンズ准教授、青山秀隆キャ リア・エクステンション課長(オホ ツク)	47	和歌山市	—
鳥取	6月30日	日	尾崎義人 常任理事	友田清彦食料環境経済学 科教授	47	倉吉市	友田教授「鳥取版教育講演会」
島根	8月25日	日	中止	—	—	—	—
岡山	7月14日	日	三好吉清 会長	濱野周泰地域環境科学部 教授	60	岡山市	難波尚吾氏(昭51造)「地元特産 品を利用した商品開発～赤米を利用 した6次産業化の取り組み」
広島	8月18日	日	尾崎常任 理事・ 小野甲二 事務局長	鈴木敏郎農学部学長、東和 男応用生物科学部醸造科学 科講師	70	呉市	亀田農園株式会社・亀田英壮氏 (昭45経)、岡本醤油醸造場・岡 本義弘氏(昭36醸)「農と食をつ なぐ実践活動」
山口	8月24日	土	外園( ) 副会長	古谷勇治世田谷サービスセンター 事務局長	40	山口市	井上善史氏(平22院修)「地域 おこしについて」

支部名	平成25年度		出席者		参加者数	場所	講演等
	開催日	曜日	校友会	大学			
徳島	9月1日	日	尾崎義人 常任理事	鈴木誠造園科学科教授	40	徳島市	—
香川	7月21日	日	福島哲男 常任理事	平出一馬キャリアセンター事務室 長	52	高松市	前橋健二応用生物科学部醸造科学 科准教授（講演会あり）
愛媛	7月14日	日	横澤馨 常任理事	—	51	松山市	—
高知	6月8日	土	三好吉清 会長	古谷勇治世田谷セービスセンター 事務局長	45	高知市	—
福岡	8月24日	土	三好吉清 会長	門司恭典畜産学科教授	86	北九州市	—
佐賀	7月27日	土	三好吉清 会長	高柳和直学長室次長	60	佐賀市	JPNODA・野田隆氏（昭43林）「ク スクスガヤによる河川護岸・法面 保護の提案」 豊原秀和名誉教授「熱帯性ヤムイ モで六次産業化にチャレンジ」
長崎	9月7日	土	豊原秀和 常任理事	豊原秀和名誉教授	25	長崎市	上田勉戦略室室長「東京農業大学 の未来について」 豊原秀和教授「熱帯性ヤムイモに よる地域興しへチャレンジ」
熊本	7月20日	土	尾崎義人 常任理事	戦略室・上田勉戦略室室 長	80	熊本市	豊原秀和教授「熱帯性ヤムイモに よる地域興しへチャレンジ」
大分	6月29日	土	豊原秀和 常任理事	豊原秀和副学長	70	大分市	豊原秀和教授「熱帯性ヤムイモに よる地域興しへチャレンジ」
鹿児島	8月18日	日	佐藤勝彦 常任理事	志和地弘信国際農業開発 学科教授	35	鹿児島市	県立末吉高校教頭・前田良文氏 （昭60工）「今の高校教育を語 る」
沖縄	8月23日	金	豊原秀和 常任理事	板垣啓四郎国際食料情報 学部教授	48	宜野湾市	板垣啓四郎教授「沖縄農業の行方 を考える-TPPの波紋を問う-

受賞名	受賞者名	受賞内容等
日本きのこ学会第17回大会 優秀ポスター賞 受賞	石塚紀子さん(林学専攻博士前期課程1年)、瀬山智子助教、江口文陽教授(森林総合科学科)、飯島倫明名誉教授(東京農業大学)他	日本きのこ学会第17回大会において「放射性物質による汚染の軽減を目指した新規栽培方法の確立ー貝化石・カキ殻を用いてー」のポスターセッションが評価され、優秀ポスター賞を受賞
第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会2013年度合同大会 優秀ポスター賞 受賞	梶村美帆さん(アケアイ学科研究生)、小林万里准教授(アケアイ学科)他	平成25年9月6日～9日に岡山大学で開催された第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会2013年度合同大会において、「ゴマアザラシの雌雄・成長に伴う骨盤および寛骨形態の変化」により優秀ポスター賞を受賞
日本植物学会第77回大会 若手奨励賞 受賞	三井裕樹助教(バイオレゾーム学科)	日本植物学会第77回大会において「溪流環境における生態的種分化の多面的な解析による検証」が評価され、若手奨励賞を受賞
食農資源経済学会 学術賞 受賞	堀田和彦教授(食料環境経済学科学科)	食農資源経済学会において「農商工間の共創的連携とレジリエント」が評価され、学術賞を受賞
第15回応用薬理シンポジウム 優秀賞 受賞	吉岡泰淳さん(食品栄養学専攻博士後期課程3年)、牧内麻緒さん(食品栄養学専攻博士前期課程2年)、本橋寛子さん(食品栄養学専攻博士前期課程2年)、菅谷紘一助教(栄養科学科)、矢島新准教授(醸造科学科)、矢嶋俊介教授(バイオインテックス学科)、小野瀬淳一准教授(栄養科学科)、阿部尚樹教授(栄養科学科)	第15回応用薬理シンポジウムにおいて「ツブホトク(Thelephora vialis)含有vialinin AのTNF- $\alpha$ 産生及び放出抑制メカニズムの解析」が評価され、優秀賞を受賞
第15回応用薬理シンポジウム 優秀ポスター賞 受賞	石塚紀子さん(林学専攻博士前期課程1年)、後関瞳さん(森林総合科学科4年)、瀬山智子准教授、江口文陽教授(森林総合科学科)他	第15回応用薬理シンポジウムにおいて「各種きのこの子実体熱水抽出物の機能性評価」のポスター発表が評価され、優秀ポスター賞を受賞
関東森林学会 学生優秀論文賞 受賞	小川智也さん(林学専攻博士前期課程2年)、佐藤明教授(森林総合科学科)他	関東森林学会において「杉人工林に天然更新した広葉樹の成長パターン」が評価され、学生優秀論文賞を受賞
内閣総理大臣表彰 第5回「ものづくり日本大賞」ものづくり地域貢献賞 受賞	穂坂賢教授(短大醸造学科)他	第5回「ものづくり日本大賞」(製品・技術開発部門)において十勝産ビート糖蜜と十勝の花由来酵母で生産した世界初のビートリキュール「ビートのころあわせ」の開発が評価され、ものづくり地域貢献賞を受賞
平成25年度公益社団法人日本造園学会関東支部大会【口頭発表部門】 優秀研究発表賞 受賞	祁吉強さん(造園学専攻 博士前期課程2年)、近藤三雄 教授、水庭千鶴子 准教授、浅井俊光 助教	造園科学科の学生・卒業生・教員が、平成25年度公益社団法人日本造園学会関東支部大会において、以下の賞を受賞(題目:主要緑化用芝草による放射性物質のPhytoremediation能の解明に関する実験的研究)
平成25年度公益社団法人日本造園学会関東支部大会【口頭発表部門】 奨励賞 受賞	金井大輔さん(H24卒)、國井洋一准教授	題目:個人庭園における地上型3Dレーザースキャによる計測と平板測量との比較
平成25年度公益社団法人日本造園学会関東支部大会【ポスター発表部門】 最優秀研究発表賞 受賞	小沼康子さん(S47卒)、松本恵樹さん(S61卒)、鈴木忠義元教授、鈴木誠教授	題目:群馬県川場村における「わが村わが庭構想事業」の活動
平成25年度公益社団法人日本造園学会関東支部大会【ポスター発表部門】 奨励賞 受賞	石井隆行さん(3年)、村田亮介さん(3年)、諸井敬介さん(3年)、松本恵樹さん(S61卒)、栗野隆助教、鈴木誠教授	題目:旧齋藤氏別邸庭園の学術調査と保存管理・整備基本計画の作成
平成25年度公益社団法人日本造園学会関東支部大会【ポスター発表部門】 奨励賞 受賞	荒井まゆさん(3年)、島田真以子さん(3年)、竹内竜真さん(3年)、栗野隆助教	題目:石造美術品の記録と評価に関するフィールドワーク江戸東京の造園調査から(中間報告)
第29回都市公園コンクール 日本公園緑地協会会長賞 受賞	株式会社新松戸造園・東京農業大学地域環境科学部造園科学科都市緑化技術研究室・一般社団法人千葉県造園緑化協会	地域環境科学部造園科学科都市緑化技術研究室が、一般社団法人日本公園緑地協会主催 第29回都市公園コンクールにおいて、日本公園緑地協会会長賞を受賞(作品名:基盤整備作業機(FTM)を用いた「造園式芝生除染・更新工法」)



受賞名	受賞者名	受賞内容等
農業農村工学会第63回 関東支部大会 奨励賞 受賞	矢島正基さん（農業工学専攻博士 前期課程2年）	農業農村工学会第63回関東支部大会において「静岡県菊川市千榎棚田における灌漑システムと還元水の水質動態に関する研究」の論文発表が評価され、奨励賞を受賞
関東畜産学会第68回大 会 優秀発表賞 受賞	竹尾駿さん、味埜美紀さん（畜産 学専攻博士前期課程2年）	2013年11月15日開催された関東畜産学会第68回大会（東大・農学部）においてそれぞれの口頭発表：「体外成熟培地へのレスバトロール添加は卵子の体外受精成績とミトコンドリアの質を改善する（竹尾）」、「肥育豚への茶カキ給与が糞中微生物叢と尿中尿素量に及ぼす影響（味埜）」が評価され、優秀発表賞を受賞
第18回 日本フードファイター 学会学術集会 銀賞 受 賞	吉岡泰淳さん（食品栄養学専攻博 士前期課程3年）	第18回日本フードファイター学会学術集会において「Vialinin A 標的分子"USP5"によるRBL-2H3細胞内でのTNF- $\alpha$ 産生制御」の研究発表が評価され、JSoFF2013 Young Investigator Award 銀賞を受賞
日本建築学会関東支部 第15回提案競技 佳作入 賞	松永圭司君・朝日純代さん・小山 田智紀君・虎走夏野さん・林真司 君（環境緑地学科1年 有志5名）	日本建築学会関東支部第15回提案競技「美しくまちをつくる、むらをつくる」「世田谷の花や農と共にある暮らしの風景」（主催：日本建築学会関東支部、共催：世田谷区、世田谷区教育委員会）において、環境緑地学科1年生5名の提案作品『My AGRICITY —オシャレな農ライフ—』が佳作入賞
東南アジア国際農学会 ISSAAS SCIENTIFIC AWARD 受賞	藤本彰三教授（国際バイオビジネス学 科）	11月11日～14日にフィリピンで開催された東南アジア国際農学会で、これまでの論文・学会への貢献を評価され ISSAAS SCIENTIFIC AWARDを受賞
地理空間情報フォーラム2013 第6回測量コンテスト 特別 賞 受賞	猪狩里美さん（造園科学科4 年）、大崎桃花さん（造園科学科 3年）、辻麻由子さん（造園科学 科3年）	公益社団法人日本測量協会主催の地理空間情報フォーラム2013第6回測量コンテスト自作機器部門において優秀な成績を納め、特別賞を受賞
公益社団法人日本農芸 化学会関東支部 若手 優秀発表賞（ポスター 賞）受賞	浦尾翔太さん（醸造学専攻博士前 期課程2年）	公益社団法人日本農芸化学会関東支部2013年度支部大会において「Ganomycin I 及び fornicin A の合成研究と生物活性」のポスター発表が評価され、若手優秀発表賞（ポスター賞）を受賞

## (別紙3)

## 平成25年度シンポジウム・研究会等開催一覧(5月16日～12月18日)

平成25年度 開催日	曜日	場所	開催名	内容等(テーマ)
5月16日	木	世田谷キャンパス 1号館431	総合研究所NRI FORUM	リスクへの果敢な挑戦が農業に新しい沃野を拓く
5月25日	土	世田谷キャンパス 1号館111	照葉樹林文化研究会 2013in東京	「照葉樹林文化の要素としての癒し植物の文化多様性をめぐる研究」(サントリー文化財団助成)、日本雑草学会学術部会「雑草の福祉活用研究会」および科研費「東アジア原産観賞植物の栽培化と野生化に関する保全生物学的研究」による研究会
6月7日	金	世田谷キャンパス 1号館141	JICA 草の根技術協力事業	カボジア現地農家とともに考える国際協力
6月8日	土	世田谷キャンパス 百周年記念講堂	日本菌学会第57回大会	菌食の世界～コジカビとときのこ～
6月22日	土	世田谷キャンパス 1号館111	第3回日本森林保健学会学術総会	森林と人間の危機を考える
7月27日	土	世田谷キャンパス 1号館141	第29回花卉懇談会セミナー	お客様を引きつける花き生産を考える
9月14日	土	ホックキャンパス	第114回日本熱帯農業学会講演会公開シンポジウム	「生物資源で地域を元気に、その元気を世界へ」
10月12日	土	丸ビルホール	食品安全健康学科開設記念シンポジウム	『これからの「食」を牽引する「安全・安心」&「機能と健康」の最前線』
10月24日	木	福島県文化センター 大ホール	全国土の会25周年記念福島大会	「がんばっぺ! 日本-大震災からの農業復興-」
10月27日	日	世田谷キャンパス 百周年記念講堂	日本造園学会関東支部大会 公開シンポジウム	時代を超えるランドスケープ・緑のエンジニアで俯瞰する30年-東京2020オリンピックを視野に入れて- 「先端的脳科学に挑戦する-基礎研究の成果を医学的应用に繋げる-」
11月2日	土	世田谷キャンパス 18号館1881	高校生向け公開講演会	
11月9日	土	世田谷キャンパス 1号館5階	第23回日本健康医学会総会	日本型食生活と健康
11月9日	土	世田谷キャンパス	第18回日本フードファクター学会学術集会(JSoFF2013)	健康増進と疾病予防研究発展の観点から、また食品の安全性に関する研究についても包含し、食品機能性因子に関する先端研究
11月15日	金	世田谷キャンパス 1号館141	総合研究所NRI FORUM	「未来を耕せ」～地域農業を拓く若手就農者育成と農協の農業経営戦略～
11月23日	土	西条市丹原文化会館	実践総合農学会第8回地方大会(西条)	産官学連携による農業を主体とした新たな産地モデル化を考える等
11月29日	金	世田谷キャンパス 百周年記念講堂	東京農業大学創立122年東京農大経営者フォーラム2013	東京農大経営者大賞・経営者賞・経営者特別賞表彰式等
12月7日	土	世田谷キャンパス 1号館141	世界自然遺産登録20周年記念イベント 屋久島ビジョン21	屋久島の多様性がもたらす豊かな恵みを子供たちの未来へ
12月14日	土	厚木キャンパス1306 教室	第9回新規就農フォーラム	『農業心耕』-地域主義でTPPに克つ-
12月18日	水	世田谷キャンパス 百周年記念講堂	平成25年度「第8回食・農・環境教育フォーラム」	「若者に魅力ある農業農村とその未来-実習地の経営者たちが語る」